

戸塚区連合町内会自治会連絡会4月定例会
議 題 説 明 書

市民局地域活動推進課

議題名：自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書の送付について

【内容】

このたび、令和2年9月～10月にかけてお願いしたアンケートの調査報告書が完成しましたので、自治会町内会長様へ一部ずつ配付します。今後の自治会町内会活動に対する本市施策の資料として活用するとともに、自治会町内会の皆様におかれましても今後の活動のご参考にしていただければ幸いです。

【例年あげている議題か？】

今回3回目です。前回は令和3年3月区連会で速報値をお伝えしました。

【何をすればいいのか？】【いつから(いつまでに)すればいいのか？】

各自治会町内会1部ずつ資料を配布いたしますので、ご承知おきください。

【その他、注意することなど】

問合せ先

担当部署 市民局地域活動推進課

担当者名 江口

TEL. 671-2317 FAX. 664-0734

自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書の配付について

3月市連会・区連会定例会におきまして、標記アンケートの調査結果を速報版としてお知らせいたしました。

このたび、調査報告書が完成いたしましたので、自治会町内会長様へ一部ずつ配付をさせていただきます。今後の自治会町内会活動に対する本市施策の資料とさせていただきますとともに、自治会町内会の皆様におかれましても今後の活動のご参考にしていただければ幸いです。

なお、調査結果については、3月25日（木）に記者発表をしており、横浜市ホームページでも調査報告書を公開しております。

○横浜市市民局ホームページ URL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/jichikai/tyosa.html>



二次元バーコード

○添付資料

- ・記者発表資料「令和2年度 自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査結果について」
- ・令和2年度自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書

市民局地域活動推進課

担当：中野、江口

TEL 671-2317 FAX 664-0734

令和2年度 自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査結果について

横浜市では、自治会町内会・地区連合町内会の活動状況を把握し、今後の自治会町内会活動に対する本市の施策の資料とするとともに、自治会町内会・地区連合町内会相互に情報共有することを目的に、4年に一度アンケート調査を実施しています。

このたび、調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

調査の概要	
調査期間	令和2年9月～10月
調査対象	横浜市内の自治会町内会 2,853 団体、地区連合町内会 253 団体
回答数(率)	単位自治会町内会 2,583 団体 (90.5%) 地区連合町内会 243 団体 (96.0%)

1 主な調査結果

(1) 自治会町内会長について

- ・年齢・・・70歳代が47.5% (1,228人)、60歳代が22.3% (575人)
50歳代以下は18.2% (469人)
- ・性別・・・男性が85.8% (2,216人)、女性が13.8% (356人)
- ・在職年数・・・5年以下が65.8% (1,698人)、11年以上は15.5% (401人)

(2) 自治会町内会館について

- ・会館がある自治会町内会が59.3% (1,533団体)
- ・会館がある自治会町内会のうち、築40年以上の会館(※)を所有する自治会町内会が26.4% (404団体)
(※築年数からみて旧耐震基準である建物と思われるもの)

(3) 加入に向けての取り組み(新型コロナウイルス感染症拡大以前)

- ・積極的、どちらかというとな積極的に加入を呼びかけていた自治会町内会が67.1% (1,733団体)

(4) コロナ禍における自治会町内会活動について・・・裏面参照

コロナ禍においての活動についてお聞きしました。
コロナ禍の中でも工夫して行った活動や、新しく始めた活動があることがわかりました。

2 今後の対応

調査結果報告書については、全自治会町内会長に配付します。
また、調査結果は関係区局で共有し、引き続き自治会町内会への支援を行っていきます。

調査報告書は、以下のページでご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/jichikai/tyosa.html>

お問合せ先

市民局地域活動推進課長 賀谷 まゆみ 電話 045-671-2298

【裏面あり】

調査結果のポイント

コロナ禍における自治会町内会活動について【新規】 [調査報告書 21～25 ページ]

①新型コロナウイルス感染症拡大以降の活動状況

- ・「お祭り、イベントの開催」については、「今年度は実施できていない」との回答が 84.6% (2,184 件) ありました。
- ・一方、「防火防災活動」は 33.0% (852 件)、高齢者や障害者への「福祉事業」は 29.2% (755 件) で、コロナ禍においても約 3 割の団体に工夫して実施されていることがわかりました。

②コロナ禍において工夫して実施した活動の具体的な内容

2,021 件の回答がありました。(以下抜粋)

- ・回覧板に不安のある方のために、回覧をパスできるようにした。
- ・会議の開催前に LINE 等で打ち合わせをしてから実施。
- ・防災パンフレットを各戸配付し、ホームページでも音声入りで公開した。

③活動において新しく始めたこと

717 件の回答がありました。(以下抜粋)

- ・役員会を完全オンライン化した。
- ・IT 支援をする専門チームを新設した。
- ・マスクや消毒液の配布。

自治会町内会の運営上の課題 [調査報告書 30 ページ]

- ・「役員のなり手が少ないこと」を課題とする自治会町内会が 77.9% (2,012 件)、「会員の高齢化」を課題としている自治会町内会が 63.4% (1,638 件) でした。(複数回答)
前回調査 (平成 28 年度) と比較して大きな変化はありませんでした。

役員のなり手を増やすための工夫 [調査報告書 31 ページ]

1,090 件の回答がありました。(以下抜粋)

- ・若手と親睦を深めるために、スポーツ大会等に参加して役員に勧誘した。
- ・毎月発行している会報誌に役員募集広告を掲載している。
- ・役員を多くし、個人の負担を少なくして、無理なく参加できるよう努力している。

行事の参加者を増やすための工夫 [調査報告書 32 ページ]

996 件の回答がありました。(以下抜粋)

- ・自治会町内会の防災マニュアルを全戸配付した結果、防災訓練に多くの人に参加してくれた。
- ・勤めている人が参加できる曜日、時間帯を選んで実施している。
- ・近隣高校 (ダンス部や吹奏楽部など) の協力を得て、従来と趣向を変えたイベントを実施することで見学者が多くなり好評である。
- ・子ども会に協力してもらうことで、保護者の参加もあり、新旧住民の交流が図れている。